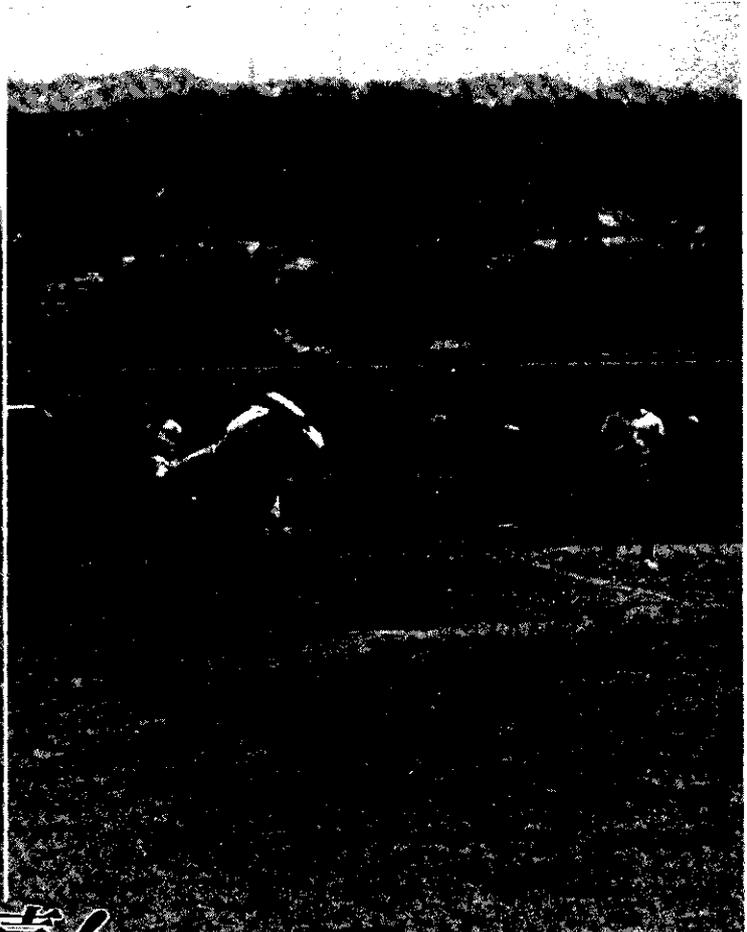


市報

とおがまち 5/10 May

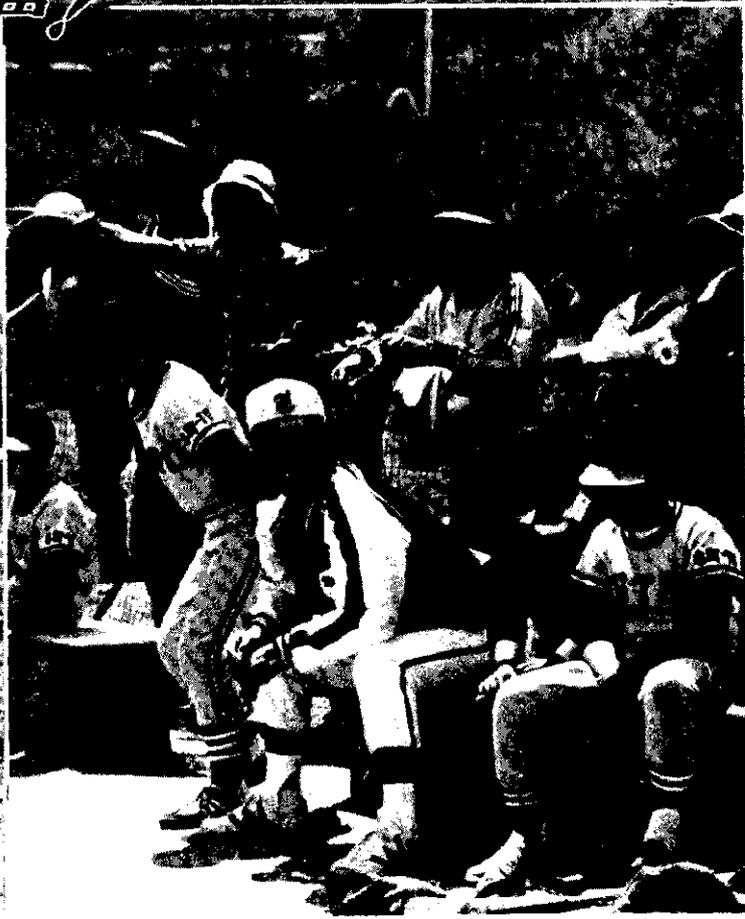
編集発行 / 十日町市役所(電話代7-3111)毎月10日 / 昭和32年6月5日第3種郵便物認可(1部6円)

□283号□



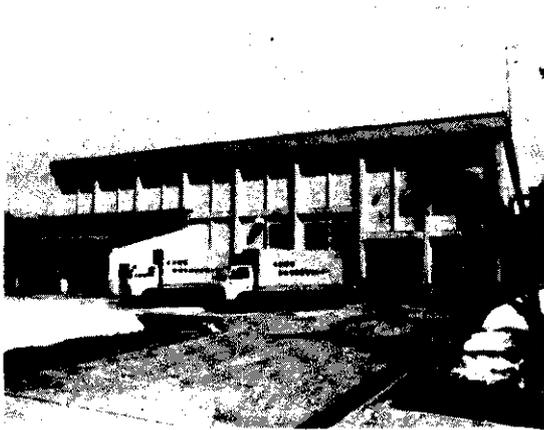
少年野球に親乎の歓声!

—5月3日 信濃川運動公園—



中央学校給食センター完成

—新たに5カ校1,000人に完全給食—



中央学校給食センター

総事業費 1億8,302万円
建物 鉄骨造り一部2階建750.52㎡
給食能力 3,000食(1日)
給食実施回数 週5回

このほど、父兄や教育関係者から要望の強かった、中央学校給食センターが旧大井田小学校跡に完成し、五月一日から、東下組小、下条小、中条小、飛渡第一小、吉田小の五カ校で完全給食が実施されることになりました。五カ校の約千人の児童を加えて、これで、市内のほとんどの小学校が完全給食校になり、中学校では、水沢中、南中、吉田中各ヶ山分校、同真田分校で完全給食が実施されています。

給食センターでは、五カ校の他に、東小、西小の両校にも給食を提供し、一日、約二千五百食を賄うことになりました。

学校給食は、食事を通して、児童や生徒の明るい社交性と、豊かな人間関係を育む大切な場ですが、同時に、同じものを食べることによって平等感が養われたり、お互いに協力して配食や後片付けを行うことで思いやりや奉仕の精神も身につく、大きな教育効果が期待できます。また、栄養的にも成長期に必要な栄養のバランスがはかられ、体位の向上が望まれます。

四月二十二日と二十五日の給食試食会では、どの学校でも給食大歓迎で、めずらしさも加わって、ほとんど残す生徒もなくなりました。

吉田小の田原校長は、学校給食の効果も「ニンジンやネギなども工夫して調理してあって、編食が無理なく治せます。また献立を各家庭に配布しますから各家庭での料理にも変化がでて



センターでは、11時までに料理を作り、配送しないと給食時間に間に合わないため、朝は戦争です。野菜は鮮度を落とさないため、揚ものや焼ものも味を落とさないためその日調理をします。16人で2,500食を作ります。

給食センターで



くると思われますし、野菜や果物の不足も解消されますから栄養のバランスがとれ体位の向上にも役立つと思う」と話し、料理を作る側の長谷川栄養士は、「子供たちに、弁当のほうがいいと思ったと言われたいように献立を工夫して、せかせいお話ししているのを作りますよ」と話していました。センターでは、一学期はパン給食ですが、二学期からは米飯給食も取り入れて献立にも変化をもたせることにしています。



4月25日のメニュー

- コーンシチュー
(ブタ肉、ジャガイモ、ベーコン、タマネギなど)
 - チキンカツ
 - 塩もみ (キャベツ、キュウリ、カブ)
 - パン
 - 牛乳
- 約900カロリー



小学校で

子供たちは

—吉田小五年生—

新たに給食が開始されたのは、東下組小、下条小、飛一小、中条小、吉田小の五校です。二十二日と二十五日の試食会には、どの学校でもこの日を待ちかねていたように大歓迎です。まっ白いエプロンをした給食当番が上手に給食を配っていました。共同作業の新しい芽がここでも伸びはじめました。



- ◎試食会の給食が大変おいしかった 十八人
- 普通だった 一人
- うまくなかった ○人
- ◎給食の量はすこし足りなかった 五人
- ちようどよかった 十人
- すこしあまった 四人
- ◎給食と弁当はどちらがいい給食が良い 十八人
- 弁当が良い 一人
- ◎給食を残すのがいやだからこれから食べたいものはカンライス、うどん、ラーメン、スパゲティ、チャートハンコロッケ、オムレツ、果物など。

第2回 市民と語る日

今年二回目の市民と語る日は、九組三十人のかたが見えられました。一人でこられるかたグループでこられるかた、部落の代表のかたと内容も多彩です。今回は六月一日(日)です。



児童遊園地の造成に援助を

峠 佐藤さんほか

借地して、キャッチボールができるくらいの子供の遊び場を作りたいが市の援助を。

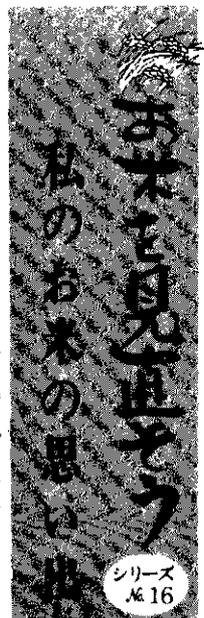
—遊び場の造成のお手伝いは市でやりましょう。現場の状態が良くわからないので、担当を伺えます。借地や用水路などの権利調整は地元でしてください。



珠田分校の建設位置に配慮を

—珠川部落有志—

馬場小珠田分校の改築が計画にあがっているようだが、珠川



四日町新田 三徳 五田 徳松さん

開拓で本当に苦労した

昭和二十年の二月の東京大空襲で焼けだされ、笠置の開拓部落に入植したのが昭和二十一年の春で、もう六十歳を過ぎていたと思う。食べるものもなくてワラをもつかむ思いだった。ウ

の将来の事も考え、建設位置を現在の場所から部落の中心に持ってきてもらえないか。

—これからの村づくりにはコミュニティの育成が欠かせません。村のコミュニティの中心は何と言っても学校です。珠田分校は通学事情が許せば、将来的には本校に統合するのが望ましいと考えますが、その時、残った学校をコミュニティセンターにしようとかから配慮しておくことは賢明です。学校の位置の変更は部落民の合意が必要ですので、皆さんで良く話しあってください。中里村との調整が問題として残りますが、皆さんの要望にそえるよう配慮します。



保ヶケ新田 新田 藤

こぜんはぼさつ

明治十四年生まれで、この春白寿の祝いをしてもらいました。昔は、白いこぜんを食べられるのは一部の人達で、お正月でもなければ、たいがい家やダイコンなどをまぜたカテメンを食べていたものです。私が十八の年に凶作があったので、一俵三円の米が十円にあがって、東京で内乱があったとい

う話を聞きました。元の人は「亭主コージンゴサマ」と言って旦那様を大事にするように育てられ、私の子供たちにもそう教えました。それと、「こぜんはぼさつ便所に落してもひろって食べろ」と言って、本当にお米を大事に大事にしたものです。(九十八歳)



伊達 三郎 市村 竹三郎さん

うまい米はアカヒバリ

昔と今とはずいぶん変わってきました。当時は、こやしがなくて苗が伸びないで骨がおれて、スジは五月の十日頃にまいたものです。品種は「ヒバリ」で穂の赤味のある稲だった。「イワノシタ」という品種は、カタミの良い田んぼを作っていた人たちが作っていました。今のコシヒカリに変わるよううまい米が「アカヒバリ」という品種でした。明治の中頃で、一反歩から四俵も取れば良いほうで、そのうち年貢に二俵も取られたものです。取れた米も皆んな食べられるわけがなく、普段はダイコンをまぜたカテメンでした。稲の病気が、虫害がおもで、私の十七、八の頃、ウンカにやられて何んにも取れないような年もあったものです。昔の稲作りは本当に天気まかせだったものです。(九十七歳)

スポーツで

健康と仲間づくりを

市では、四月から大幅な機構改革を実施し、体育課を新設し、地域のスポーツ活動や施設の充実に積極的に取り組んでいます。

皆さんに、十日町市の体育を語っていただきましょう。

根津 (司会) 四月から機構改革

によって体育課が新設され課員一同張り切っている。ここ数年

スポーツブームで、生活に密着したスポーツの見直しが叫ばれており、市としても施設の整備

と指導者の確保に力を入れているが、行政だけの力には限界がある。今日は、当市の体育振興

のあり方と手だてを関係の皆さんから話しあっていたきたい。

鹿野 最初に施設面では、社会体育では昼間はほとんど使わな

いので学校体育との関連で効率的な投資をしてもらいたい。

根津 現在十三カ校を学校開放校に指定し、今年中に、馬場小

と八箇小に照明工事をし、来年は開放校に指定する。学校施設が社会体育の有効な資源だとい

う認識は持っている。

上村 水沢は、昨年照明工事が終って使いやすくなった。これ

からは、あの施設に入りきれないぐらい仲間の輪を広げないと。

お母さんと一緒にきた子供たちが遊んでいて倒れたりして危険だ。

宮入 屋外体育施設で不足しているのは野球の練習場だ。特に

早朝野球が足りない。人数がすくないチームは日誌などを見て

二チームに借すとかまだ有効な利用も考えられるのではないか。

ブル関係では、昨年、幼児用プールが出来て充実したが、

もう一ランク上の小学校低学年用の施設は作れないだろうか。

鹿野 プールの学校開放は、

種別 プールの開放は、学校の主体性にまかされているが、事

故などの問題もあり、むずかしい。地区体協と協力してやって

いる地区もある。

根津 小学校低学年用のプールは、今の段階ではむずかしい。

幼児用プールには、今年、人工芝を張ったりして、手を加える

つもりだ。施設的には、十日町自然運動公園の大プロジェクト

計画を進めているが、

は、レベルの高いチームの試合を観戦できたり、陸上競技場では、大きな大会を誘致してきたりして、良い施設ができるメリットを充分活用できるように、

今から準備をしておかなければ。

鹿野 本場に、今から出来あがった時に充分活用出来る体制づくりをしておかないと。市内に

は、現在、陸上競技場がないので、何をすることも学校施設を利用している。小千谷、湯沢、大

和町などみな公認グラウンドを持っている。市内の公認審判員

の数は、県下でも三本の指に入らないうので、良い施設を作

ってもらって、大きな大会を誘致して良い競技に接したい。

宮入 第一に考えられるのは、広報活動の不足だ。婦人スポーツ教室をやっているのは知って

いても、それが何曜日、種目は何かとなると徹底していない。

地区体協や公民館活動との連携いプレーでチラシの配布をする

など考えられるのではないか。

鹿野 そのへんの問題は、体協の中にもあるようだ。チャンピ

オンスポーツを中心とした単協

スポーツをするとき 体力が十年違う

根津 次に、活動面から見たい。市では、活動の目玉としてスポーツ教室や地区体協、指導者の養成、今年、連合会を結成した婦人バレーボールのこと

など話題にしてみました。

宮入 第一に考えられるのは、

竹内 私たちの川治クラブは、十三人ぐらいのメンバーだ。一

緒にやりたい人はいるのだが、若い人は子供が小さいし、出

られる年齢になると体がきかなくなる。家庭の協力が得られる

かどうかが一番大きな問題だ。

古沢 地区の体育祭に行ってみると、ママさんバレーをしてい

る人は、ひとときわが光って見える。スポーツをしている人といない

人は体力的に十年位違うようだ。

出席者



鹿野 雅弘



宮入 健一



田川 久美子



古沢 美智代

市体育協合理事長、市体育指導委員。バレーボール、陸上競技、と幅広く後進を指導。

市体育指導委員会委員長。スキー、排球、野球にと地域のスポーツを指導

市体育指導委員。南中会場で婦人バレーボールを指導、全国青年大会代表選手

市体育指導委員。中条中会場で婦人バレーボールを指導。全国青年大会代表選手

市民体育館夏期日程割

利用団体 排球・羽球・卓球・籠球
アーチェリー・教委・婦
人会・公民館
期 間 5月1日～11月30日

	前 半 PM 5:30～7:30		後 半 PM 7:30～9:30	
月	バスケット	バレーボール	卓 球	バドミントン
火	卓 球	バスケット	婦人スポーツ教室	
水	バレーボール	卓 球	バドミントン	卓 球
木	バレーボール	卓 球	バドミントン	バドミントン
金	バドミントン	卓 球	バレーボール	バレーボール
土	テ ニ ス		バレーボール	バレーボール
日				

- 青年学級 5月～11月第1,3月曜日
- 健康のつどい 5月～11月第2水曜日
- 婦人スポーツ教室 5月～7月毎週火曜日

婦人バレーボール (ママさんバレー)連合会結成

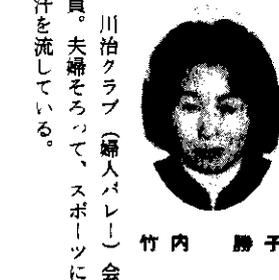
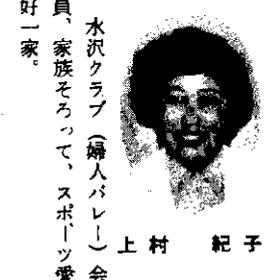
昨年度まで、市の婦人スポーツ教室で練習してきたチームが同好会として発足する動きがあります。このチームと既存のクラブチームで連合会設立の準備が進められています。

この連合会には、市バレー協会、市体育指導委員会、市体育課で、技術の向上や会の発展のため、全面的にバックアップをしてゆくことにしています。

それぞれの地区でチームを作って参加してください。

申込み・問い合わせ 市体育課
(☎7-3111番内線275)
第1回大会 6月中旬(予定)

衛生施設組合から
5月12日(月)から不燃物の埋立地が、大倉から川西町霧谷に変更になります。



家族ぐるみで スポーツを

庭野 十年前に比べればそれでも出やすくなった。その頃は、気がねして出ている人もあった。上村 初めの頃は、婦人スポーツ教室と言ってもわからなくて夜遊びに行っているのではないかと間違えられた。竹内 家庭で、親や主人の理解がないと出れないが、私のチームには、奥さんが試合や練習に出るのに、だんなさんが、送り迎えをしてくれたり、応援をしてくれるなごやかな家庭もある。庭野 婦人を出やすくするのに、ご主人を、社会体育に引っ張り込むことも考えなくては。上村 時々、夫婦でやれるような種目も考えてもらえれば。根津 ママさんバレーの大会にお父さんが応援に出かけてくれ

るのは、ほほえましい。お父さんの応援団員というふうなものも考えられるかもしれない。根津 家族の理解は、その家庭だけでは駄目なので、そういう意味では、地域コミュニティが大事になる。庭野 その中心になるのは、やはり地区体協の活動だと思ふ。古沢 若いお母さんは、お姑さんの手前、参加できないこともある。おとしより向きのスポーツも取り入れて、家族でスポーツをやる体制を整えたら。根津 高齢化社会になって、老人スポーツの見直しも必要だ。種目を何にするか研究している。宮入 地区体協の指導員も衣替えしないで、メンバーは結婚した人が中心で、結婚前の人は入らないという問題がある。その人達は、自分で独りなるとするチャンピオンスポーツだけ目指して、住民と密着した活動は、

好まないようだ。根津 それらの問題を解決するには、地区体協だけでなく、単協の中でも考えてゆかねばならないのでは。庭野 種目によっては、単協活動だけで地区とつながりがなくても良い種目もあるが、バレーや野球など連けいを密にしなければならぬ種目もあり、体協内部で調整をしなければ。根津 単協がインシアチブを取った。小、中、高、社会人と一貫した指導体制の確立もはからなければならぬ。

新体育課に期待する

宮入 待望の体育課としての独立であり、これを機会に、施設の充実も勿論、余暇時代にあつた、スポーツでの仲間づくりを進め指導者の確保のために、スポーツバンクの設立をして欲しい。庭野 今すぐには表われないだろうが、体育関係にかける予算以上に、医療費の支払いがすくなくなつたと何年後かに言われるように、市民の健康づくりの一翼を担ってもらいたい。田川 ママさんバレーも連合会を作って独立できるように。たのだから次は、テニスなど、市民のニーズに答えられるよう指導体制の確立に努めて欲しい。古沢 ママさんバレーでも、他のレベルの高いチームを呼んできて、練習方法を見たり、練習試合をして、良いものを吸収する機会を作って欲しい。上村 竹内 定期的な指導者の派遣や養成に援助をして欲しい。根津(司会) 市民の要望は年々多様化しているが、市民の健康づくりや体力づくりのため、市民総スポーツ化のため、課員一同努力したい。今後とも協力をお願いしたい。

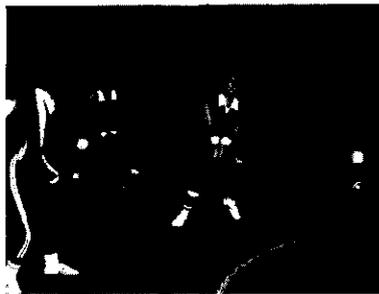
東京新堀ギターアンサンブル コンサートのご案内



日時 5月23日、午後6時半
 会場 十日町市民会館ホール
 主催 十日町市民公民館、十日町市民コンサート協会
 前売券 1,200円 (当日券1,500円)

演奏曲目・アルハンブラの思い出 ●パロック風「春が来た」●愛の賛歌 ●さくら変奏曲 ●口笛ポルカ ●ドレミの歌など (15名編成、演奏部主任、小山清一十日町高校卒一)
 前売券発売所 公民館、イトー楽器、ミヤコヤ、カワジ時計店、ハトヤ時計店、大万書店、野上書店。

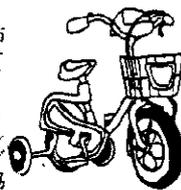
婦人スポーツ教室開始



市教育委員会では、日頃スポーツで汗を流す機会の少ない婦人を対象に、健康増進と明るい仲間づくりを目指して婦人スポーツ教室を開設します。

運動不足のあなた、何かとストレスのたまっているあなた、一週間に一回、仲間と思いきり汗を流してみませんか。
 期間 五月十九日(月)〜七月二十六日(土)までの十週間
 時間 各教室とも夜七時〜九時三十分
 講師 市体育指導委員、各単協選出指導員
 申込み 各会場の第一回目に出席の時に、保険料(希望者のみ)六百八十円をそえて
 その他 当日は、服装は統一しませんが、スポーツのできるスタイルで。詳細は、体育課(七三二二番内線二七五)へ。

おはようサイクリングも



市サイクリング協会では、自然に親しみながら、正しいサイクリング技術を身につけてもらおうと今年もおはようサイクリングを実施します。
 実施期間 五月十二日〜九月二十九日までの毎週月、水、金
 時間 午前五時二十分集合、五時三十分出発、六時三十分終了
 コース 約十キロ〜十五キロ
 集合場所 市役所前広場
 参加料 千円(中学生以下七百元……保険料を含む)
 申込み 市民体育館(七二五二〇八番)か市内各自転車店、または、当日会場で。

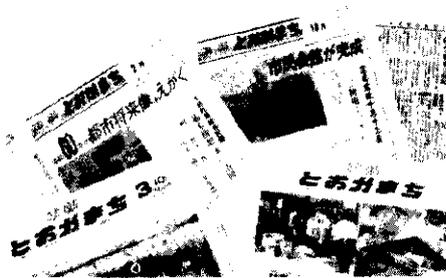
会場及び種目

会場	曜日	内容
水沢小	毎週木	卓球、軽スポーツ、民踊など
下条小	毎週火	バレーボール、軽スポーツ、民踊など
鏡島小	毎週火	〃
真田小	毎週火	〃
川治小	毎週水	軽スポーツ、民踊、フォークダンス
吉田小	毎週火	〃
中条中	毎週水	テニス、軽スポーツ、民踊
市民体育館	毎週火	〃



シリーズ No. 14

市政だより第1号発行 昭和31年5月25日



「市政は市民の総意に基いて行われなければならない」と云われますがその為にはお互いが良き理解の上に立って仕事を進めて行く事が大切だと思います。この度「市政だより」を発刊致しましたが、市民の皆様から市政について充分理解していただくと同じ時に市政に対する皆様方の御批判御意見を御聞かせいただく資料にもと考えて二ヶ月に一回発行することにして居ります。何分ともこの「市政だより」を中

心にしてよりよき市政を盛り上げて行くために御協力下さるようお願い致します。原文のまま。これは昭和三十一年五月二十五日発行「十日町市政だより」第一号巻頭の、当時山口孝一市長の発刊のことばです。今から丁度二十四年前に当ります。発刊の挨拶にもありましたが当時二カ月に一回の発行であり紙面も漸くタブロイド版の一枚両刷程度のものでした。先づ発行にあたり紙名をどうするか、図柄は、紙面の大きさ、発行回数配布先、記事はどのようにして集めるか等々の話し合いがもたれ、当時の総務課文書広報係が担当し、各課の協力を得て漸く第一号が出来上った次第です。第一号から第四十五号(昭和三十五年六月十日)までの図柄については私の案が採用され、文字は元市役所の職員阿部勝造さんからお願いをしたものです。

今から考えてみますと誠に幼稚なものでしたが、いかにも急造された新市にふさわしいもので汗顔のいたりです。
 当時の紙面を拝見しましたら一年間の予算規模(一般会計)は総額で一億七千余万円、職員の数に特別職を含む市長以下出先機関、臨職を含め二百三十人、人口は四万四千四百参拾九名でした。その後昭和三十七年に旧水沢村と合併し、現在の姿になりましたが、人口は依然として横ばい状態が続き、予算の総額は九十七億七千余万円と約五十七倍となり、職員数は五百九十人と約二・六倍にふくれ上がっています。市政だよりも名称が変わり「市報とおがまち」となり毎月十日発行。外に「お知らせ版」が毎月二十五日に発行され、当時と比較して隔世の感があります。やはり二十四年という歳月は、百年の四半世紀に当り遠い昔のことになりつつあり今当時を思い起すとき、何か昨日のような気がして、市が発足した時の情景が走馬燈のように浮かんで消え消えしては消えて行きます。特に、市発足に当り、各課の協力を得て漸く第一号が出来上った次第です。第一号から第四十五号(昭和三十五年六月十日)までの図柄については私の案が採用され、文字は元市役所の職員阿部勝造さんからお願いをしたものです。
 (池田七郎)

探鳥会 ~ 5月は愛鳥月間 ~

高校生以下三百円。申込みは五月二十日までに事務局(番二一三五七五番十高)又は保健所(番七二二四〇番)に電話で。

- ★期日 六月一日(日)
- ★ところ 神明公園(下条為永)
- ★日程 集合場所 下条為永神明神社 (本町二角屋さん前から午前四時マイクボックスが出ます)
- (1)集合時間 午前四時三十分
- (2)集合時間 十分〜六時三十分
- (3)探鳥会：午前四時三十分〜六時三十分
- (4)解散：午前九時
- ★朝食を持参のこと
- ★参加費は大人五百円

野生鳥獣捕獲違反防止にご協力を

違反者などのご連絡や問い合わせは、警察署、保健所、鳥獣保護委員(越村巳則)中条旭町高橋正二(川西町三領)へ。

- 春は野生鳥獣の繁殖期です。ヒナ、卵等の捕獲、採取の禁止。
- 野生鳥獣を飼うことは原則として認められていません。
- 狩猟免許(甲種)のない人はタヌキ、キツネ、テン、イタチ、ウサギなどを猟具(トラバサミ等)を用いて捕獲の禁止。
- 春は野生鳥獣の繁殖期です。ヒナ、卵等の捕獲、採取の禁止。
- 野生鳥獣を飼うことは原則として認められていません。

作品募集 第12回簡易保険資金写真コンクール

詳細につきましては、郵便局の保険窓口でおたずねください。(十日町郵便局番七 八八七二番)

- ★募集期間 七月三十一日(木)まで
- ★内容 融資施設を題材にした明るい写真
- ★大きさ カラーはスライド三十五ミリ以上 白黒は四〇切り
- ★応募点数 カラー、白黒の両部ともそれぞれ五枚以内 (組写真は一組三枚以内)
- ★審査員 長野重一(日本写真家協会会員ほか)

十日町野鳥の会、十日町保健所共催の「探鳥会」が次の要項で実施されます。どうぞお気軽に参加ください。

たくさんの野生鳥獣が住むことは自然環境の真の姿です。最近違法に「ワナ」等を使って野生鳥獣を捕獲した例が多発しています。よりよい自然環境保全のために次のことに市民の皆さんからご協力を!

郵政省簡易保険局では、簡易保険資金融資施設を題材にした写真コンクールを、次の要項で実施いたします。

第4回

きものまつり

5月18日(日)催し物案内

- ★開 宴……午前10時半
- ★ところ……十日町市民体育館
- ◆'81新潟県きもの女王コンテスト
- ◆きものショー
- ◆歌謡ショー・きもの談義 ミヤコ蝶々、藤田まこと、由紀さおり
- ◆お楽しみ抽選会
- ◆食べものパビリオン
- ◆抹茶のサービス ※ひとりでも多くのかたが、きもの姿で、お越し下さい。
- ※お問い合わせは、十日町市繊維工業協同組合きものまつり実行委員会事務局へ。(番7-9111番)



歩行者天国(交通安全キャンペーン) ~第4回きものまつり歩行者天国部会~

- ★時間(区域) 午後3時~5時(本町1丁目~6丁目) 午後3時~6時(駅通り、高田町1丁目) (パレードは午後2時~3時)
- ★おもな行事 ◆パレード……ブラスバンド・きもの・ぬいぐるみ・安協各隊・自転車隊・BMX他。
- ◆広場行事 ○きもの女王撮影会 ○交通チャリティサイン会(藤田まこと、ミヤコ蝶々、由紀さおり) ○幼児絵画展 ○民謡大会 ○交通安全教室 ○乗合馬車 ○BMX演技 ○青空市場 ○郷土芸能(赤倉神楽、新保広大寺) ○バンド演奏 ○ぬいぐるみ大会 ○シンセサイザー ○ラジコンカーレース ○自転車選乗り大会 ○落書きタワー ○わたあめサービス ○自動車分解大会 ○交通安全パネル ○ビール早飲み大会 ○ミニ鉄道など
- ★街頭献血のごあんない* ~きものまつり共賞~
- 日時 5月18日(日)午前10時~午後3時
- 場所 第四銀行前(本町3丁目)



公民館(本館・地区館)の学級講座のごあんない*

- 川治地区公民館
- 青年講座 いけ花、食生活、レクリエーション 月4回夜
 - 盆栽教室 月2回昼
 - 焼物教室 月4回夜
 - 分館講座 ●高山(いけ花) 月2回夜 ●北新田・城之古(民謡、踊) 月2回夜 ●城之古(いけ花) 月1回夜 ●北新田・城之古(書きつけ) 月1回夜 ●八箇(民謡) 月2回夜
 - 料理教室 月1回昼(夜)
- (番2-2223番)

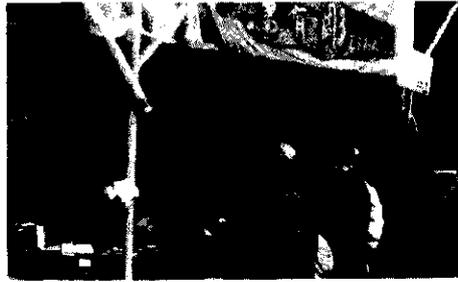
- 吉田地区公民館
- コーラス教室 月2回夜
 - いけ花教室 月1回夜
 - 名ヶ山詩吟 月4回夜
 - 鐘島民謡 月2回夜
 - 鐘島書道 月2回夜
 - 真田着付 計10回夜
 - 真田婦人学級 月1回夜
- (番2-2874番)

- 十日町市公民館(本館)
- 十日町青年学級 料理、焼物、文芸、ミニコミ紙発行、写真、演劇、映画評論の7コース 学習日は毎週木曜日夜7時~9時、自治会費(通信費含)1,800円、教材費実費
 - 市民講座 焼もの 毎週火曜日5月13日~ 文 学 第2・4火曜日5月13日~ 日本画 毎週火曜日5月13日~ 小 謡 第1・3木曜日5月1日~ 中華料理入門 第3金曜日5月16日~
 - 老人講座 みんなで「昔の食べもの」の事を調べたり、時には作ったりしながら学習を進める。(クラブ活動として) 焼もの、俳句、あみもの、いけ花、写真
- (番7-5011番)

- 六箇地区公民館
- 田妻婦人学級 月1回夜
 - 六箇料理教室 月1回昼
 - 麻畑婦人講座(いけ花) 月2回夜
 - 中村菊づくり講座 月1回昼
 - 二ツ屋あみもの講座 月1回昼
- (番2-3418番)

妻有木彫り会

代表 大矢貞一(稲荷町二)
 公民館本館主催の「木彫り教室」を基盤にして、同好者の育成を図る目的で庭野秀正先生の指導下で結成されたのがこの会です。



素朴な手作りの木彫品を自ら

手芸かのこ会

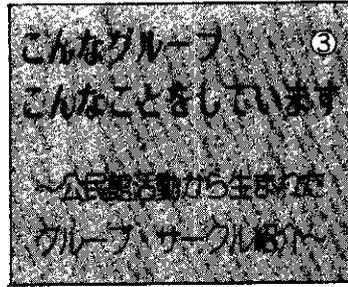
代表 村竹貴与子(諏訪町)

の手で削り出す趣味を通じて、今までにない人と人とのふれあいを大切にしてゆくことと、生活に密着した模様彫り、飾り物、茶器などを彫刻。そして年一回彫刻品や木工芸産地の見学研修などを行っています。

和道会

代表 庭野茂樹(田川町二)

旅は人を豊かにします。しかし、ただ単に観光旅行であれば行って来たという記録と何枚かのスナップが残るだけです。そこに自分達だけの計画、工夫や目的が企み込まれることで、さらに楽しく想い出深い旅になるもの。和道会はこんな雰囲気



に頑張っているグループです。

新水民謡練習クラブ

代表 久保田清太郎(新水)

昭和五十一年度に開かれた民謡講座(飛渡)から生まれたのが、新水民謡練習クラブです。月三回の夜八時から十時までの二時間、お茶を飲むのも忘れ、日常の仕事も忘れて素直に民謡の勉強することは素晴らしいものです。また年齢も三十五歳位



春の市民芸能祭

★とき

5月14日(水)夜7時~9時

★ところ

市民会館ホール

入場料……無料です。

★発表団体

- 市民吹奏楽団
- 飛渡民謡愛好会
- 十日町民謡研究会
- 新座公民館民謡教室
- 新座公民館民謡教室

ご家族・職場のお仲間とさそいあわせてお出かけください。

はじまっています~

中条地区公民館

- 中条青年の村
- 活花のひろば 第2・4水曜日夜
- 料理 " 第1・3木曜日夜
- レクリエーション " 毎週火曜日夜
- 体育 " 毎週月、金曜日夜
- 食生活教室 第2火曜日夜
- 活花 ■着付 "
- 焼物教室 毎週金曜日夜
- 俳句教室 第3金曜日夜
- 中条の歴史 月1回夜
- おばあちゃんの勉強室 月1回
- おばあちゃんの手芸 月1回

(☎2-2748番)

下条地区公民館

- 青年教室
- 写真 第1・3火曜日夜
- 婦人学級
- 手芸 月1回昼
- 食生活 月1回昼
- 着付 毎週1回夜
- 料理教室 第3土曜日夜
- 活花教室 第3火曜日夜
- 健康づくりのつどい (中央、上新田、上組各会場)
- 菊づくり 月1回夜
- 上新田活花 週1回夜
- 上新田手芸 月1回夜

(☎5-2004番)

水沢地区公民館

- 青年講座 計5回夜
- 食生活教室 月1回昼
- 日本舞踊教室 月2回夜
- 姿あみもの講座 月2回昼・夜
- 土市婦人学級 月2回夜
- 書道教室 月2回夜
- ぶどうづくり教室 月1回昼
- 小謡教室 月1回夜
- やきもの教室 月2回夜
- 俳句・和歌教室 月1回夜
- 婦人体育教室

卓球 毎週木曜日夜
 バレーボール 毎週火曜日夜
 (☎8-3101番)

飛渡地区公民館

- 枯木又婦人学級 月1回夜
- 東部婦人学級 月1回夜
- 稲原婦人講座(いけ花) 月1回夜
- 枯木又婦人講座(習字) 月1回夜
- 料理教室 月1回昼
- 東部分館講座(いけ花) 月1回夜
- 飛渡分館(習字) 月4回昼
- 池入分館講座(いけ花) 月1回夜
- 老人講座 月1回昼
- 家庭教育講座 計5~6回昼

(☎7-8743番)

5月17日(土)午前10時15分~10時45分までNST「いい旅チャレンジ20,000キロ」の中で十日町市が紹介されますのでごらんください。

出稼ぎ者健康診断を実施

長い冬期間の出稼ぎ、ごくりうさまでした。十日町保健所では、つぎのように出稼ぎ者の健康診断を無料で実施しますので必ず受診してください。

●実施日 五月二十六日(月) 六月六日(金)

●受付時間 午前九時～十一時 午後一時～二時半

●会場 勤労青少年ホーム

●検診項目 問診、検尿、血圧測定、聴診、検便、血液検査(第二次検診該当者は、心電図検査、眼底検査)

●当日持参するもの 出稼労働手帳、検便

当日は、眼底検査を実施する関係で車はご遠慮くださるようお願いいたします。

開眼検診を無料で実施

新潟県では、「目の見えない人

たちに愛の光をおくろう」と、昭和四十一年から開眼検診事業を行っています。その事業の一環として、開眼検診(角膜移植適応者の把握を主旨)と一般検診を新潟眼科銀行及び新潟大学医学部の協力を得て無料で実施しています。

今年度もつぎの人を対象に実施しますので、希望者は十日町保健所(番二二四〇番)に申し込んでください。

●対象者

①視覚関係身体障害者程度等級表の一級から六級の人

②潜在視力障害者

③一般検診を受けた人(通院中の人及び学校保健法の適用を受ける幼児、児童、生徒を除く)

●申込締切 五月三十一日(出)

●実施予定時期 七月上旬

なお、希望者には後日検診月日等を個人通知します。

詳細については十日町保健所にお問い合わせください。

エネルギー講演会のご案内

十日町エネルギー懇談会では、つぎの日程でエネルギー講演会を実施します。入場は無料です。多敷ご来場ください。

○日時 五月二十一日(水) 午後二時より

○会場 十日町商工会議所四階ホール

○講師 安積義明氏(東北原子力懇談会理事)

○演題 「これからの暮らしとエネルギー」

市民税の均等額の税率が改正に

4月16日の臨時市議会でも市税条例の一部が改正されました。また県民税も改正になりました。

市民税 1,300円→1,500円
県民税 300円→500円



今月の納税

固定資産税第一期
軽自動車税全期

納期限五月三十一日

リウマチ患者と家族のみなさんへ
リウマチの会は結成十周年を迎え、左記のように講演会を計画しました。
リウマチのかたはもちろん、家族のかた、近所のかたもおきそいあって多数ご出席ください。
日時 五月二十五日(日) 午前九時半～午後三時
会場 老人憩いの家四ツ宮荘 屋敷 各自持参(当日出前も可)
講師 村沢重先生(新潟大医学部整形外科)
問い合わせ 小海清(番七二五 一八五番)

寄付ありがとうございます
社会福祉事業
停電のお知らせ
▼五月十二日(月) 午後一時～四時半まで 巖平、三ツ山、上田原
▼五月十四日(水) 午前八時～正午まで 下川原町、南新田町、四日町新田第三の一部
▼五月十四日(水) 午後一時半～

気軽にできる家庭料理②



一季節の味覚・たけのご御飯

「たけのこ」は今が一番おいしい季節です。そのたけのこを使った「たけのご御飯」を味と栄養を考慮して、具をたくさん入れたものをご紹介します。旬の香りをおたのしみ下さい。

●材料と分量(4人前)

A	米	カップ3	B	出し昆布	10 cm
	水	カップ2/3強		鶏肉	150g
	砂糖	小さじ1		酒	大さじ1 1/2
	塩	小さじ1/2~1弱		茹で筍	150g
	しょうゆ	大さじ2		油揚げ	1枚
	酒	大さじ2		もみのり	1枚
			さんしょの芽	4枚	

●作り方

- ①米は炊く30分から1時間前に洗って、ざるにあげ水けをきっておく。
 - ②筍の先のやわらかい部分は縦に、根元は横にうす切り。
 - ③油揚げは極うす切りとし、鶏肉は厚さ5mm、長さ2.5cmに切り分量の酒に15分つける(臭味抜き)
 - ④出し昆布は、横に1cm間隔の切れ目を入れておく。
 - ⑤出し昆布を下にしき、A・Bを合わせて炊く。
 - ⑥もみのり、さんしょの芽をそえる。(具は米の上に)
- 調味料が下に沈むので、全体を混ぜてから炊く。これ以上具を増やすと、米に火が通らないことがある。具と米を別々に炊き、あとで混ぜても良い。(酒井 環………駅通り)

ちがさん



○市内の最前輪のかた三人にお米の話をお聞きしました。物があふれ、米の価値が忘れられかけ、豊富な食糧があふれている今の時代が、先人の汗と苦勞の上に築かれてきたことを、一世紀を生きた人たちの声を通して訴えたかったからです。「開拓時代は本当に苦しかった」という玉田さん。「便所に落ちたご飯さえ拾って食べろ」と教えられた藤田さん。「カチメシ」の思い出を語る市村さん。それぞれに生活の重みと、米に対する愛着が伝わってきました。